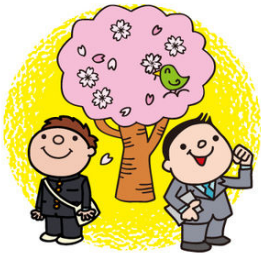


C & CLも今回で No.100 を迎えました。万歳！！



暖かく気持ちのよいほかほか陽気と共に、新年度がスタートしました。



今回は、



の結果について

基準値は正常値ではありません。健常人の 95%の方がこの値に含まれます。言い換えれば健康であっても 5%の人は基準値から外れることとなります。(統計学的に 20 人に 1 人は、この範囲から外れることがあります。) ひとつの検査結果だけをみて判断するのではなく、検査結果を総合的に見て判断される必要があります。

結果の説明に参考していただけたら幸いです。

## TP (総蛋白)

血清中の蛋白質はアルブミンとグロブリンに分かれます。アルブミンは血液中で最も多い蛋白質で、肝臓で作られます。栄養源として、また血液の浸透圧の維持を保つ役割をしています。最も小さい蛋白質のため腎臓疾患などで容易に尿中に出てきます。グロブリンは細菌やウイルスからの感染を防いだり、血液の凝固因子、鉄や銅などを運搬する役目を担っているタンパクの総称です。アルブミンとグロブリンを合わせたものが総蛋白、その比が A/G です、

## 高いとき

脱水状態による血液の濃縮、グロブリン蛋白異常など

## 低いとき

栄養不良、肝臓障害、ネフローゼなどの腎臓疾患、慢性消耗性疾患など

## Alb (アルブミン)

### 低い時

肝臓障害、ネフローゼなど腎障害、栄養不良、慢性消耗性疾患など

## A/G (エージ比)

### 低いとき

肝臓障害、ネフローゼなど腎障害、栄養不良、慢性消耗性疾患、多発性骨髄腫など

## 尿素窒素

蛋白質は体内でエネルギーとして利用された後、肝臓で尿素に変えられ腎臓から尿中に排泄されます。腎臓の機能を見る検査です。

### 高いとき

糸球体腎機能低下、高蛋白摂取、感染症など

### 低いとき

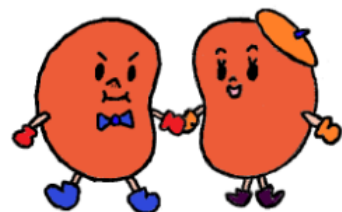
低蛋白摂取、多尿

## クレアチニン

筋肉に含まれる成分で、毎日一定量が老廃物として、腎臓でろ過されて尿中に排泄されます。腎臓の働きが正常かどうかを見えています。

### 高いとき

腎臓障害



## 総コレステロール

血液中のコレステロール値で、善玉のHDLコレステロールと悪玉のLDLコレステロールに分かれます。高くなると動脈硬化症など生活習慣病の危険因子となりますが、HDL-CやLDL-Cも同時に測定し、総合して判断する必要があります。

### 高いとき

脂質異常症、肥満、糖尿病、脂肪肝など

### 低いとき

肝臓疾患、栄養不良

## 中性脂肪

体内の中でもっとも多い脂肪で、糖質がエネルギーとして脂肪に変化したものです。

数値が高いと動脈硬化を進行させます。

### 高いとき

脂質異常症、肥満、過食、糖尿病、など

## 総ビリルビン

黄疸の有無を表しています。

### 高いとき

肝臓や肝胆道系疾患、溶血性貧血など

## AST (GOT)

肝臓心臓などに多く含まれるアミノ酸代謝酵素で、肝臓や心臓機能の検査です。

### 高いとき

肝臓疾患、心筋梗塞などの心臓疾患など

## ALT (GPT)

肝臓心臓などに多く含まれるアミノ酸代謝酵素で、肝臓や心臓機能の検査です。

### 高いとき

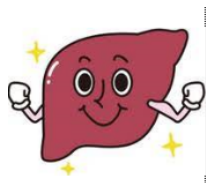
肝臓疾患、心筋梗塞などの心臓疾患など

## ALP (アルカリフォスファターゼ)

アルカリ下でリン酸化合物を分解する酵素で、肝臓や骨・小腸に多く含まれ、肝臓から胆汁中に排泄されるため、肝臓やその流出経路に異常があるかがわかります。

### 高いとき

肝炎、閉塞性黄疸など肝臓や胆道の病気、骨疾患、悪性腫瘍等、クッシング症候群



## 血糖

糖とは血液中のブドウ糖のことで、エネルギー源として全身に利用されます。

測定された数値により、ブドウ糖がエネルギー源として適切に利用されているかがわかります。

### 高いとき

糖尿病、副腎皮質や甲状腺など内分泌異常、妊娠、ストレスなど

## 判定区分の説明

### 異常なし

今回の検査では通常と異なる所見は認められませんでした。

### 有所見健康

治療したあとの所見や処置が不要な所見はありますが、日常生活に支障はありません。

### 生活注意

生活習慣が主な原因と思われる軽微な所見が認められます。今の段階で生活習慣を改善すると将来の疾病を予防することが可能です。

### 要経過観察

服薬等の医療措置の必要はありませんが基準範囲を超えている所見が見られます。毎年必ず健康診断を受診するとともに、体調に変化がおきた場合は医療機関を受診してください。

### 経過観察中

問診から、現在、定期的に健康管理担当者または医療専門職により検査を継続中であることを示します。

### 要再検査

基準範囲を超えるデータを認めます。一時的な変動かどうか確認するため、再検査が必要です。

### 要精密検査

基準範囲を大きく超えるデータを認めます。治療が必要かどうか確かめるために、詳しい検査が必要です。

### 要医療(要治療)

医師による医療措置が必要です。

### 加療中(治療中)

すでに医療機関に通院中とのことですから引き続き主治医等の指示に従ってください。